

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

鹿児島県 高校入試情報

令和7年度鹿児島県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は、昨年と同じ地1・歴1・公1の計3問

○小問数は38問（昨年は41問）

○文章記述問題は9問（昨年は11問）

●出題傾向について

○文章記述問題は、穴埋め問題、字数制限があるものや資料から考察して記述するものなど様々な形式で出題されている。

○歴史分野では並べ替え問題が2問出題されている。

○地理分野では作図問題が出題されている。

★鹿児島県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 文章記述問題の出題

・記述問題では、資料から考察したことを穴埋め形式や字数制限で記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と設問の要求に沿って解答をまとめる記述対策の両方が必要。

➡

新研究で対策！

●巻頭の「社会のキホン～記述問題の答え方～」(p. 2～3)と、「文章記述問題はこわくない！」(p. 184～187)で記述問題のポイントがつかめます。

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 194～197)では、複数の資料を用いた問題など、思考力を必要とする問題が練習できます。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

➡

新研究で対策！

●「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で、すべての時代の流れをつかむことができます。

●「並べかえ問題に強くなるう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した鹿児島県の入試問題(令和7年度)

◆p.29 ◆p.105 大問3 ◆p.109 大問3 ◆p.129 大問1 ◆p.133 大問2 ◆p.141 大問2

◆p.188 大問2

鹿児島県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！

★鹿児島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿	●		●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●	●
		アジア州	●		●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●		●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●	
		地域調査の手法		●	●	
		日本の自然, 人口	●	●		●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●	●		
		近畿地方, 中部地方	●	●	●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●	
		歴史的分野	文明のおこりと日本	●	●	●
	古代国家の歩み			●		●
	中世社会の展開		●	●	●	●
	ヨーロッパ人との出会いと全国統一				●	●
	近世社会の発展		●	●	●	●
	近代ヨーロッパと日本の開国				●	
	近代日本の歩み		●	●	●	●
	二度の世界大戦と日本		●	●	●	●
	現代の日本と世界		●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活		●		●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
		現代の民主政治, 国会	●	●		●
		内閣・裁判所, 三権分立	●		●	●
		地方自治			●	
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●	●
地球社会と私たち		●		●	●	
分野統合						
出題形式別の傾向	大問数	3	3	3	3	
	小問数	40	38	41	38	
	記号解答	13	12	18	16	
	用語記述	19	15	12	12	
	文章記述	8	11	11	9	
	作業・作図				1	